

# 長万部の

# 教育 コーナー



## 今、学校では

### きゅうりからもらった笑顔 いずみ保育園

園庭の畑に実った沢山のきゅうり。毎年、年長さんが苗植えを体験します。今年は、例年以上に豊作でした。花びらにくつついた小さな小さなきゅうりを見て「かわいいね」「はやくたべたいなあ」と期待を膨らませます。成長の過程を自分たちの目で感じることが出来たからこそ、特別な思いで収穫をしました。野菜が苦手な子も、不思議と惹きつけられるものがあるようです。おやつには、みんなが味噌マヨネーズを付けて食べました。「おいしいね」と口を揃え、何度もおかわりする姿が微笑ましかったです。家族がお家に持ち帰って、家族



と食べる喜びも味わいました。少しずつ色付き始めたミニトマトにも、ドキドキワクワクが止まらない子ども達です。

## 未来のために

### 長万部高等学校

夏休みも終わり、今高校は前期期末考査の真最中です。夏休み直前には1年生の総合的な学習の時間に北海道教育大学函館校より齊藤征人先生を講師に迎え、「ふるさと学習」まちづくりプロジェクトの1回目を実施しました。自分のできることで誰かのためになれるまちづくりを真剣に考えました。2回目は「まちづくりカンファレンス」と題して長万部の各分野で活躍なさっている方々から、町の課題や理想のまちづくりについてお話を聞き、意見交換をする中で各グループでのテーマ設定のヒントをいただきました。今までも町の未来づく

りのため推進会議等、地域と連携した活動を続けていますが、さらに深化させて行きたいと考えています。9月9日(日)には町民ふれあいオリニピックに今年も全校生徒が参加させていただきます。

就職希望の3年生は就職試験の解禁に向けて、将来を決定する大切な時期となりました。夏休み中には進学講習、公務員講習、企業訪問等が行われ、考査明けには模擬面接練習も実施され、いよいよ本番を迎えることとなります。高校卒業後の進路は誰かと一緒にいうわけにはいきません。精神的にも経済的にも自立した社会人となるべく真

剣に取り組んでいるところで。生徒たちはこれからも様々な経験をとおして、各自の自立の道を拓いていきます。保護者と地域の皆様の温かい応援とご支援をよろしくお願いいたします。



「ふるさと学習～まちづくりプロジェクト～」の1回目

## こんな制度を ご存じですか？

### ◎就学援助制度とは…

お子さまが、小・中学校に通学するうえで、経済的な理由によりお困りの方に対し、学校給食費・学用品費・修学旅行費などが支給されます。

### ◎特別支援教育就学奨励費とは…

国の補助に基づき小・中学校の特別支援学級に在籍するお子さまがいる家庭に、奨励費の支給を実施するもので、学校給食費・学用品費・修学旅行費などが支給されます。学用品費の支給には領収書またはレシートの提出が必要となりますので保管しておいてください。(新1年生の準備用学用品も対象となります。)

### 【お問い合わせ先】

教育委員会事務局  
学校教育係  
(☎2-2748)



# 写真で見る 学校の様子

長万部中学校

静狩小学校



長万部高校オープンスクール 2年生参加 6/15



総合的な学習の時間・しずかりタイム「野菜となかよし」 6-15



渡島中体連壮行式 6/22



器楽演奏の練習の成果を披露「静狩小学校 鼓笛パレード」 7/9



夏休み学習会 7/30



夏休み前の保護者の皆様からのプレゼント「サマーキャンプ」 7/21



Society 5.0を見据えた、  
長万部2030

長万部小学校長

長瀬 雅一

新聞やテレビでは、毎日「AI」関連や「2020東京オリンピック」の文字、ロゴを目にします。先日上京した折にも、電車内、街中の広告、建設工事等「AI」時代の「東京2020」、そして、その先の未来への勢いを強く感じました。

先々月、全国の校長研修会に出席する機会があり、文部科学省の大臣官房審議官が述べていた話です。

2030年の新しい社会の在り方を考えたとき、その時代を生き抜いていく子供たちに必要となる資質・能力を育む教育が学校に求められます。時を同じくして、長万部町も新幹線が開通するという節目を迎えます。また、AI技術の進化により、今ある職業の多くが消え、未知の職業が誕生するそうです。

国立社会保障・人口問題研究所の予測では、少子高齢化の進行により、2030年には年少人口（14歳）が1、321万人、生産年齢人口が6、875万人まで減少。65歳以上が我が国の総人口の3割を超えるとのことです。急速な人口減少に伴い、在留外国人人数、海外在留邦人数ともに増加し、社会のあらゆる分野でのつながりが国境を越えて活性化し、人材の流動化、人材獲得競争などグローバル競争の激化も予想されています。また、子供の貧困は、相対的貧困率について改善が見られるものの、引き続き大きな課題です。

長万部町内小中高校では、連携を密に、未来を模索・イメージしながら、今の自分を見つめ、将来の自分を考えるキャリア教育を推進しております。今、長万部町の次代を担う子供の姿をどうイメージし、どう育むか。地域と学校が一体となった「長万部2030」への学校教育の取組が問われていると感じます。

様々な課題が山積する中、2030年頃には、第四次産業革命ともいわれる、IoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新が一層進展し、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類史上五番目の新しい社会であるSociety 5.0の到来が予想され、その社会像・求められる人材像・学びの在り方について政府大臣懇談会において議論がなされております。

業革命ともいわれる、IoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新が一層進展し、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類史上五番目の新しい社会であるSociety 5.0の到来が予想され、その社会像・求められる人材像・学びの在り方について政府大臣懇談会において議論がなされております。